



【 鈴木 茂 プロフィール 】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校PTA会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。
- ・上尾市議会議会報委員長

【 現在 】

- ・上尾市議会議員（無所属） 福祉常任委員会所属、上尾政策フォーラム所属
- ・(学) 浅間台幼稚園園長
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・(社福) 特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3  
TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp  
浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさん今日は。上尾市議会議員 鈴木 茂です。今年の12月6日投開票の上尾市議会議員選挙では、2,632票で2期目の当選を果たす事ができました。皆様方の温かいご支援に心より感謝申し上げます。さて今年の選挙後の12月14日から12月25日まで上尾市議会定例12月議会が開かれていました。私鈴木茂1期目最後の議会で一般質問をしましたのでその内容を中心に報告させていただきます。

< I 新図書館について >

① 新図書館建設に対しての要望書が出されたとの事だが、その内容と署名数、それに対しての市の対応は？

回答:図書館建設についての3つの事項についての見直しの要望である。

- ①そもそも図書館の位置づけ、役割を検討した上での移転計画になっていないのではないか。
- ②利用者の声を受け止めて検討されていない。
- ③予定地(上平公園)の選定過程が不透明

署名数は、2,059人。第4次・第5次総合計画や図書館サービス計画に位置付けられ検討を進めてきた。政策会議を経て平成26年3月議会で候補地表明。7月に「上尾市中央図書館建設懇話会」にて新図書館の充実について意見を戴き基本構想を策定、議会の文教経済常任委員会の現地視察を頂き提言書も頂いた。建設候補地については、総合的に判断し、上平公園西側の土地を新図書館候補地とした。

② 平成27年8月に行われたアンケートで現在の本館利用者の地域別割合はどうなっているのか？

回答:上尾地区が全体の52%。続いて大石地区が16%。上平地区が12%。

\*一 現在の中央図書館の利用者は上尾・大石地区で7割を占めている事が分かります。一

③ 自宅から図書館までの主な交通手段は？

回答:本館において、主な交通手段は、「自転車・バイク」が約48%。「自動車」約30%。「徒歩」約19%。

④ 平成25年のアンケートでの交通手段は？

回答:本館において、主な交通手段は、「自転車・バイク」が約38%。「自動車」約30%。「徒歩」約27%。

\*一自転車の利用者は増えるが、自動車の利用者は増えていない事が分かります。市が必要としている100台以上の駐車場の確保がこれからも必要か疑問が残ります。一

⑤ 現在の図書館サービスで取り組んで欲しいものは何になっているか？

回答:「図書館資料・雑誌などの充実」が最も多く、1,220人。「予約・リクエストサービスの充実」が368人。「児童サービスの充実(おはなし会など)」が193人。

\*一利用者が一番望んでいるのは図書の充実だという事が分かります。一

⑥ 市の西側の車を運転しない高齢者が不便なく方法などをどのように考えているのか？

回答:上尾駅から伊奈学園行の路線バスは、概ね1時間に2~4本運行しており、「ぐるっとくん」の運行ルートや本数、在来バスの本数等関係部署と調整する。

⑦ 「市民の意見を取り入れて図書館建設を進めて欲しい」との要望に対して中央図書館建設懇話会で意見を聞いているとの回答だが、この中央図書館建設懇話会では、新図書館の場所は議論されたのか？

回答:上平公園西側の候補地の決定後に施設・設備面について上尾市中央図書館建設懇話会で議論した。

⑧ 候補地決定の前に新図書館の場所について市民の声は聞かれたのか？

回答:建設候補地については、現図書館本館や上尾駅西口大駐車場を含め検討したが市民のニーズに応えられる施設の規模や駐車場確保の問題など総合的に判断し、行政が選定した。

⑨ 今後、図書館建設の具体化に対して、この基本構想に意見を提出した図書館に深い思いを持っている人をメンバーに加えて協議したらどうか？

回答:中央図書館基本構想策定では教育委員会、図書館協議会、懇話会の意見を戴いた。市民パブリックコメントを実施し、昨年11月に策定した。現時点では新しいメンバーを加えて協議することは考えていない。市民には1月5日から25日に「第2次図書館サービス計画」の意見を募集するので意見を賜りたい。

⑩ 現在の図書館本館はどのような方向で検討していくのか？

回答:本館の移設により上尾地区の図書機能が不足することから、上尾地区内に何らかの補完が必要と考えている。

⑪ 新図書館35億円程度の財政的裏付けは？

回答:新図書館建設に対する国庫補助はない。国より出された「公共施設最適化事業債」という地方債を可能な限り活用していきたい。

⑫ 公共施設最適化事業債とは？借金か？どこから借りるのか？借りる条件は？

回答:既存の公共施設を集約化・複合化するために実施する事業に対して発行が可能な市債であり、全体として延床面積が減少することが要件である。借入先は地方公共団体金融機構又は市中銀行。

⑬ 図書館の面積はどの程度減るのか？どんな複合施設になるのか？

回答:図書館占有部分は2000㎡(現在は2337㎡)複合施設を合わせると現図書館を上回る。図書館と青少年センターを基本とした教育的な複合施設を考えている。

⑭ 現在の青少年センターはどうなるのか？教育センターも上平に移るのか？

不登校の児童生徒が通う教育センターが上平では通いきれないと思うが如何か？

回答:青少年センターが存在する上尾市別館は老朽化が著しく、昨年大雪の際には大規模な雨漏りを起こした。このことから移転が完了した後は、建物を解体し、土地の売却を行うことも含め検討する。教育センターの移転先も公共施設マネジメントに即して現在検討を進めている。

⑮ 戸崎のパークゴルフ場の建設予定と金額は？

回答:平成28年度に用地取得及び工事に着手し、平成29年度中に一部供用開始の予定。事業費は概算で1億円を予定。

⑯ 上尾市文化センターの耐震工事の予定と金額は？

**回答:**平成28年8月から29年7月までの1年間。平成29年9月リニューアル開館予定。建設工事費は23億円程度を予定。

⑰ 益々進む高齢化社会で福祉の分野での支出の増大が予想されるが、どの分野でどの程度の支出の増大を見通しているのか？

**回答:**高齢福祉の主な事業として介護保険給付があるが、平成26年度給付支出が111億円。市の負担割合が12.5%だから市の支出は13億9千万円。平成29年度は、給付支出が143億円、市の負担は17億9千万円と見込んでいる。

**\*一つまり毎年1億円ずつ増加していく事が見込まれているという事になるー**

⑱ 福祉の増大の中、建設費で大変な財政的支出になると思われる。上尾市の今後の財政状況に影響はないのか？

**回答:**図書館の建設に当たっては財政の年度間調整や住民負担の世代間公平を図るため、市債を活用する。市全体の公共建設事業と実施時期等について調整を図っていくことにより安定的な財政運営を行っていく事が出来ると考えている。

⑲ 市全体の公共建設事業と実施時期等について調整を図っていくので大丈夫との回答だが、パークゴルフ建設、文化センター耐震工事、新図書館建設と同じ時期なのではないか？

**回答:**パークゴルフ場は用地取得を平成28年度に実施する。新図書館建設はこれらの事業のピークを避け、平成29年度に着手し、平成30年度にかけて実施する。

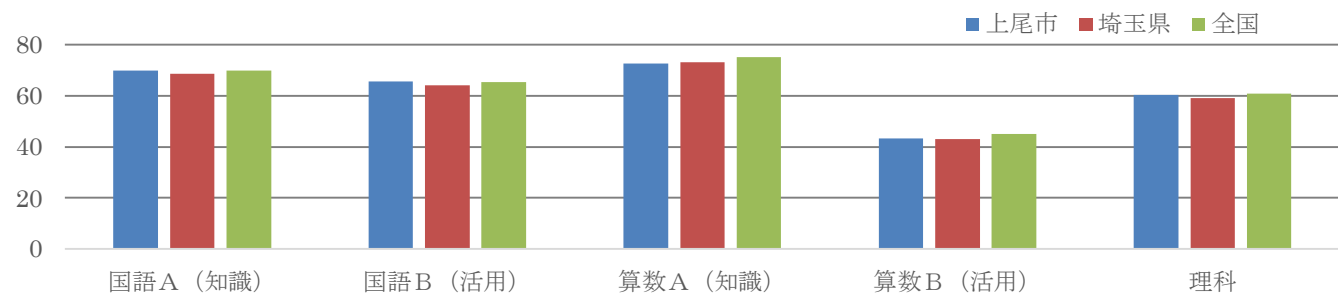
十文字学園女子大学準教授の石川敬史先生の図書館の生き方が地域を育む～図書館のチカラ～という話を伺いました。「図書館づくりとは単なる図書館という建物づくりではない。住民の参画と協働により住民の思いを基盤とした付加価値のある図書館づくりであり、それが同時に新しい町づくりに繋がっていく」という話を伺いました。新図書館は、建設費に35億円を投入するという巨大プロジェクトです。私は、図書館建設自体には賛成です。上尾市の将来に責任を持つためにも慎重に進めるべきと考えます。愛知県小牧市では新図書館整備計画が住民投票で白紙に戻ったとの事です。そのようにならないためにも要望書を提出した方々を含め図書館に深い思いのある方々を交えて協議をし直し、上尾市の図書館サービスにある「市民とともに歩む図書館の創設」～上尾市の文化を市民と共に育むことを～強く要望するものです。

## < II 上尾市を教育の町として位置づけ若者世代を支援するために >

上尾市の平成27年度の全国学力テストの結果は、以下のとおりです。

【小学校第6学年】※  は、全国の平均正答率を下回っているもの。

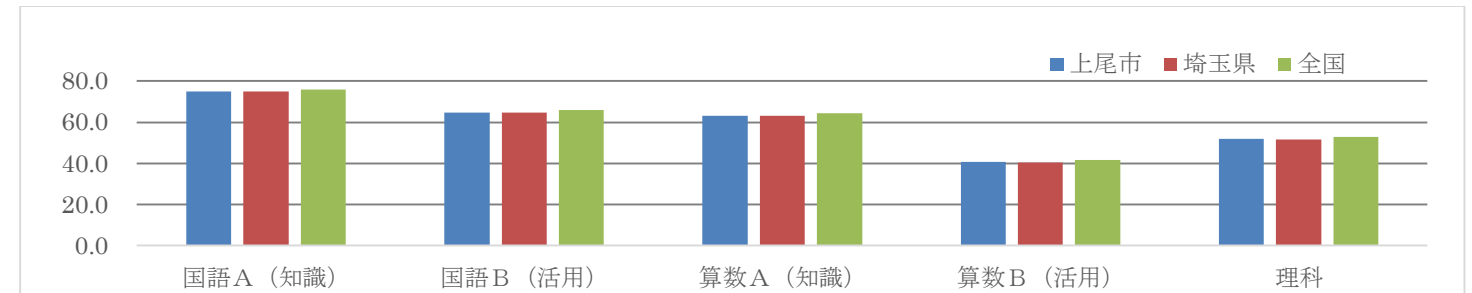
	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)	理科
上尾市	69.8	65.6	72.8	43.4	60.4
埼玉県	68.7	64.2	73.1	43.1	59.2
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8



**\*グラフとしてみると上尾市の正答率は全国と比べても大きく下回っているわけではありません。しかし、点数の上では小学生では4教科、中学生では5教科全てが点数の上で下回っています。**

【中学校第3学年】※  は、全国の平均正答率を下回っているもの。

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)	理科
上尾市	75.0	64.6	63.3	40.6	51.8
埼玉県	74.9	64.7	63.2	40.4	51.6
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0



**\*私は全国学力テストで全てを判断する事には否定的です。しかし教育の町として位置づけ子ども達・若い世代や子育てを支援していくために点数は検討していく余地があると考えます。**

① 平均を下回っている教科をどのように分析しているのか？

**回答:**小学6年生の算数は少数の計算等の習熟や学んだ知識を基に、論理的に説明する力に課題がある。中学3年生の国語は、特に自分の考えや理由を記述する「書くこと」に課題がある。数学は、「関係を式に表す」「理由を論理的に説明する力」に課題があると捉えている。

② 学力テストの下位の県は平均のこぶが30点ぐらいにもう一つあり、いわゆる二コブラクダが平均点を押し下げられているが、上尾市はどうなっているのか？

**回答:**上尾市では、下位層にこぶがあるような状況にはなっていない。上尾市の正答数の分布は、全国とほぼ同じ傾向にあるが、やや低くなっているものがある。学校・家庭での日々の学習の積み重ねを充実させることが重要であると考えている。

③ 同時に行われる生活習慣に関する質問で「学校に行くのは楽しいか」で26年度は小学校で62.8%が「はい」と答えて埼玉県や全国より10%高いのに、中学になると逆に44.3%と埼玉県や全国を下回っていた。27年度は小学校で67.8%、中学校で53.7%と大幅に改善されたが何か特別な理由はあるか？

**回答:**上尾市教育委員会では昨年度から「ほめる教育」を推進しており、そのための機会を意図的に設定していくことを指導している。この事が、子ども達の自己肯定感醸成の要因と考えている。

27年度の全国学力テストの埼玉県の上位の市を見ますと、蕨市、さいたま市、桶川市、熊谷市等が出てきて、それぞれ特徴的な取り組みをしています。小学校4科目がトップだった蕨市は「少人数学級」を中学校5科目でベスト3入りした桶川市は「科目ごとの得意分野や弱点も学校別に詳しく分析」しています。さいたま市は、私が以前とりあげた「土曜チャレンジスクール」という無料学習教室を全ての小中学校で行っています。熊谷市は「くまなびスクール」という学習支援教室を実施しております。上尾市も地域の学習支援教室を開催する、母子家庭等の子どもの貧困家庭への無料の学習支援教室の拡大等を実施して上尾市の未来を荷う子ども達や若い世代を教育の充実から支援していく事を強く願うところです。

**2月27日(土)午前10時～11時半まで第2回鈴木茂と上尾市政を語る会を実施します。場所は浅間台幼稚園駐車場西側事務所(上尾市春日 2-27-24.普通の一軒家)です。お茶を飲みながら気軽に話し合いませんか！上尾市政に対してのご意見をお聞かせ下さい。事務所☎716-7462**